



箱根写真美術館 箱根

Hakone museum of photography

PARIS RETROSPECTIVE DES ANNEES 70

小山夏比古写真展 -70年代パリ回想-

会期：2011年4月27日(水)-5月9日(月)

会場：箱根写真美術館 2F 展示室



エコール・サンジオルジュ (パリ 19区) © Natsuhiko KOYAMA

もし幸運にも、
若者の頃、パリに暮らすことができたなら、
その後の人生をどこですごそうとも、
パリはついてくる。
パリは移動祝祭日だからだ。

アーネスト・ヘミングウェイ

高見浩訳 新潮文庫『移動祝祭日』より

<展覧会概要>

作者が過ごした1970年代半ばのパリ。フランスは68年の5月革命のあとドゴールが退陣し、74年その後継者であるポンピドゥーが急死、81年ミッテランが政権につくまでの間、ジスカルデスタンが大統領を務めた時期であった。作者は、エコール・デ・ボザールでセザールに彫刻を学ぶ傍ら、生活の糧を求めてアルバイトを転々、ペンタックスSVを片手にパリの街をさまよった。ここに展示される作品は、作者がパリに滞在した中での、わずか3年間に撮られた記録である。

若い頃パリに暮らした作家、ヘミングウェイがその著「移動祝祭日」で書いているように、作者は60歳を過ぎて箱根に暮らし、人生の残りが見え始めても、やはりパリが忘れられない。忘れられないどころか、年とともにパリへの思いが強くなる。この展覧会は作者のそうした思いを込めた、パリ、あるいはフランスへの賛歌である。

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography

<展示作品>モノクロ写真、作者自身によるシルバ
ープリント 四つ切額装25点の展示(予定)

<作家紹介>

小山夏比古(こやま なつひこ)

【作家略歴】

- 1972年 愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻科卒業
現代日本彫刻展(宇部市)マケット入選(彫刻)
- 1973年 渡仏。パリ、エコール・デ・ボザールでセザールに師事。
アトリエ・セザールのマシエに指名される
- 1975年 サロン・ド・メ (フランス)招待出品(彫刻)
ツーロン国際美術展コンクール2位入賞(彫刻)
エコール・デ・ボザール・グループ展参加(彫刻)
この頃、パリで写真を始める。
- 1976年 帰国。5年間、高校教師をする傍ら彫刻制作。
- 1981年 信濃橋画廊個展(彫刻)。
この頃から企業デザイナーとして店頭広告等の企
画制作に携わる。
- 1983年 ヤマハ・ゴルフギア-POPAI 電通月間佳作賞に
入選(POP 広告)。
- 1994年 この頃写真再開。アサヒカメラ月例コンテスト4位、
2位、1位連続入賞(写真)。
- 1995年 この頃からマスコミ各社主催の展覧会運営に関わる。
- 2004年 「マルチメディア・展覧会ガイドシステム」が
金沢市ITビジネス奨励賞受賞。
- 2007年 デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'06で
日本テレビのスタッフとして参加した
「スーパー・エッシャー展」がベストプロデューサー
賞受賞。
- 2008年 TBSテレビ・星の王子さまミュージアム(箱根)に
勤務、現在に至る

<関連イベント等>

オープニングレセプション

4月27日(水)15:00-17:00

4月30日(土)15:00-17:00

作家が来場し、中庭でレセプションパーティーを開
催します。お気軽にご参加下さい。

※雨天の場合は1F展示室内で開催。



古いアパートの中庭(パリ13区) © Natsuhiko KOYAMA



豆をむく老女(ジェノラック) © Natsuhiko KOYAMA

【会場/問合せ先】

箱根写真美術館 2F 展示室

神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432

電話 0460-82-2717 FAX: 0460-82-2717

URL <http://www.hmop.com>

e-mail info@hmop.com

開館時間: 10:00-17:00

休館日: 火曜休館(祝日を除く)

入館料: 大人500円(300円)()内は小中学生

※未就学児童は無料

※常設展「遠藤桂 富士山写真展」もご覧頂けます。

【主催等】

共催: 箱根写真美術館/Les Trois Temps 実行委員会

後援: 在日フランス大使館

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography



在日フランス大使館後援

Les Trois Temps